

演習 2

地域を理解する

地域・在宅看護論では、人々が地域で健康に暮らせるように、また健康障害があっても地域で暮らし続けられるように支援することを学ぶ。地域での暮らしを支援するためには、暮らしの基盤となる地域を知る必要がある。

● 学習目標

- ① 地域の特徴が人々の暮らしと健康に影響を与えることがわかる。
- ② 学校の所在する「地域」を知ることができる。
- ③ 健康障害が生じても安心して地域で暮らしつづけるためにどんな支援が必要か、システム思考で考えることができる。

● 学習の進め方

ワークシート1 ▶ 学校のある地域を知り、地域の特徴が人々の暮らしと健康に与える影響を考えよう。

- ① 事前課題として **ワーク1** に取り組み、自分の考えを発表できるようにしておく。
- ② 数人のグループになって①を発表し合い、**ワーク2** に学校のある地域の特徴をまとめる。
- ③ **ワーク3** で、学校のある地域に住む人々の暮らしと健康を支援するために、どんなデータが必要かをグループで考える。
- ④ **ワーク4** で、グループで分担して **ワーク3** について調べる。ウェブ検索でもよい。
- ⑤ 地域紹介(桜島)を読み、グループになって **ワーク5** で桜島の特徴をあげ、**ワーク6** でその特徴が暮らしと健康にどのような影響を与えるかを考える。
- ⑥ **ワーク7** で、学校のある地域の特徴が人々の暮らしと健康に与える影響を考える。

ワークシート2 ▶ 健康障害があっても安心して地域で暮らしつづけるためにはどんな支援が必要か、システム思考で考えよう。

- ① 事前課題として **ワーク1** と **ワーク4** に取り組む。
- ② 数人のグループになって、システムとシステム思考について確認する (p.44 ページ)。
- ③ **ワーク2** で、A さん夫婦の家族システムはうまく機能しているか、グループで話し合う。
- ④ **ワーク3** で、A さん夫婦をどんな地域システムが支えているか、グループで話し合う。
- ⑤ **ワーク5** で、1年後の A さん夫婦の家族システムの変化とこれから期待したいことについて、グループで話し合う。
- ⑥ **ワーク6** で、A さん夫婦を支える新しい地域システムについて考え、グループで話し合う。
- ⑦ **ワーク7** で、健康障害があっても地域で暮らしつづけられるように支援するためにはどうすればよいかをまとめ、グループごとに発表する。

右の QR コードより、ワークシートをダウンロードしていただけます。



ワークシート1 学校のある地域を知り、地域の特徴が人々の暮らしと健康に与える影響を考えよう。

ワーク1 【事前課題】学校のある地域(中学校区くらいの範囲)の特徴をあげてみよう。また、そう考えた理由や根拠を示そう。

- 地域名：
- 地域の特徴：

- 地域の特徴としてあげたことの理由や根拠 (イラストや写真も活用しよう)

ワーク2 **ワーク1** についての発表を聞いて、学校のある地域の特徴をまとめよう。

ワーク3 学校のある地域に住む人々の暮らしと健康を支援するために、どんなデータが必要か考えよう。桜島の地域紹介の例も参考にしよう。

ワーク4 グループで分担して、可能なデータを収集し、学校のある地域を理解しよう。

地域紹介(桜島)

鹿児島市の桜島。国立公園に指定されており、鹿児島市街地とはフェリー(15分)を使って行き来する。しかし、夜間便は最近廃止された。火山は平均して1年間に200回も噴火しており、灰が降ると洗濯物は外には干せない。灰を除くフィルターを窓につけるなどさまざまな工夫をして、火山とともに暮らしている。降灰が多いと市から^{こくはいぶくろ}克灰袋が配付され、灰を入れて指定場所に置くことになっている。おもな産業は、農業・漁業・観光である。火山の噴出物のため農作物は限定され、特産物は桜島大根などである。火山の恩恵で温泉がわき、観光が1つの産業になっている。鹿児島市街地の企業などに勤めている人が多い。

桜島の総面積は約80km²、周囲約52kmで、車だと1時間で1周できる。路線バスは2系統運行されているが、本数は少ない。住民は近年減少し、現在は約3,500人、うち半数は高齢者である。桜島に8つある小中学校は、1つに統廃合するという計画があがっている。高校はなく、フェリーで対岸の高校などに時間をかけて通う。

桜島には病院が1つあるが、専門的な診療が必要な場合や手術が必要な場合は同法人の鹿児島市街地の病院を受診することになる。病院の関連の福祉施設や訪問看護ステーションなどは、桜島内に複数ある。日々の買い物は、フェリー乗り場近くにあるスーパーやコンビニ、道の駅を利用する。地域の人々のつながりは深く、フェリー乗り場から徒歩15分くらいのところにある「高齢者福祉センター桜島」には、近隣の高齢者が毎日のように集い交流を深める場となっている。



QRコードより、桜島の動画をご覧ください。



ワーク5 地域紹介をもとに、グループで桜島の地域の特徴をあげてみよう。

ワーク6 桜島の地域の特徴が人々の暮らしと健康に与える影響をグループで考えよう。

ワーク7 学校のある地域の特徴が人々の暮らしと健康に与える影響を考えよう。

ワークシート2 健康障害があっても安心して地域で暮らしつづけるためにはどんな支援が必要か、システム思考で考えよう。

ワーク1 【事前課題】 Aさん夫婦の紹介を読んで、わからないことがあれば調べておこう。

学校の近くに住むAさん(88歳・男性)は妻のBさん(86歳)と2人暮らし。2人の子どもは県外で家庭をもっている。

Aさんは市バスの運転手として定年まで働いた。休日は趣味の釣りに出かけ、家事や育児は妻まかせであった。性格は明るく友人が多い。70歳ごろより老人会でグラウンドゴルフをするようになった。これまで大きな病気はしていないが、近くのS医院で高血圧症の内服治療を受けている。若いときから腰痛があり、近くの整形外科T医院で湿布薬をもらっている。

Bさんは、外出は好まず内職をして家計をたすけており、金銭管理はしっかりしている。約10年前に心房細動と診断された。昨年、呼吸困難と浮腫が出現し、S医院で心不全と診断され、近くのZ病院に5日間検査入院した。入院中は、隣人のCさんがAさんに声をかけて、ゴミ出しなどを手伝ってくれた。退院後は、S医院で6種類の内服治療を受けている。

結婚して建てた家は、築55年。10年前に浴室とトイレを高齢者用に改修したが、寝室は2階で、階段の昇降をしている。「思い出の詰まったこの家で最期まで暮らしたい」と夫婦は言う。

最近の暮らしぶりは、家事は分担し、掃除と洗濯はBさん、料理と買い物はAさんの役割で、運転免許証は返納したため自転車ではほぼ毎日買い物に行く。下肢の筋力が低下したBさんはかたづけ程度の掃除と洗濯以外は、座ってテレビを見ている。受診時には、Aさんが付き添っている。Bさんは要支援1と判定され、介護保険で階段の手すりをつけた。Aさんは週1回のグラウンドゴルフには欠かさず行っている。用事で休むと、心配してメンバーから連絡がある。家にいるときはBさんと一緒にほとんどテレビを見て過ごしている。

Aさん夫婦と地域のつながりをシステムとしてみよう。

ワーク2 家族システムはうまく機能しているだろうか。

ワーク3 **ワーク1**の時点で、どんな地域システムがAさん夫婦を支えているだろうか。

ワーク6 1年後のAさん夫婦を支える新しい地域システムについて考えてみよう。

- ・近隣・友人とのつながり(互助)について考えよう。

- ・広く地域社会の支援(公助や共助)についても考えよう。

ワーク4 【事前課題】 次のAさん夫妻の様子を読んで、わからないことがあれば調べておこう。～1年後のAさん夫婦～

ある日、Bさんが階段を踏みはずして転倒し、救急車で少し離れたY総合病院に搬送され、大腿骨骨折と診断されて手術を受けた。術後経過に大きな問題はなく、入院2週間で回復期病棟のあるZ病院に転院した。Y総合病院入院中は子どもたちがかわるがわる来てくれて、AさんをY総合病院に連れていってくれ、掃除や洗濯も手伝ってくれた。Z病院の入院は3か月くらいになる予定で、心臓の機能をみながら歩行練習をしていくという。足の痛みもあって思うように歩行訓練は進んでいない。

Z病院に移って1週間がたった。いつも面会時間に来ていたAさんが来ない。心配になったBさんが電話をすると「うとうとしていた」と言う。週末に子どもがAさんの様子を見に実家に戻ると、よごれ物と洗濯した物が一緒になり、流し台には食器が山積み、トイレもよごれていた。Aさんと話をするといつものような活気がなく「ひとりではやる気がおきない。ぼんやりして過ごしている。グラウンドゴルフにも行く気になれない」と言う。さらに話を聞くと、夜なかなか眠れず朝方になって寝ることが多く、日中眠いと言う。調理はほとんどせず、買い物に行ったときに総菜を買ってきてご飯だけ炊いて、夕食にはビールを1杯飲んでいる。入浴は毎日しているが、トイレや風呂、部屋の掃除はしていない。お昼からBさんの面会に行くつもりだが、昼食後うとうとしてしまうことがある。最近、腰だけでなく膝も痛み、立ち上がるのに支えがいる。隣のCさん夫婦やグラウンドゴルフの友人が気にかけて声をかけてくれるのがうれしいと言う。

ワーク5 Aさん夫婦の家族システムは、1年前と比べてどのように変化しただろうか。また、これからの家族システムに期待したいことはなんだろうか。

ワーク7 健康障害があっても地域で暮らしつづけられるよう支援するにはどうすればよいか、整理しておこう。